

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡がりの懸念を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

(付き添いの方もお願いします。)

- ◇ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◇ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)

新型コロナウイルスの感染の拡大が懸念される現在でも、毎日約 3,000 人の患者さんが輸血を必要としています。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症について

1. 新型コロナウイルス感染症は、飛沫や接触によってうつる感染症です。
2. 新型コロナウイルスは、症状の出していない方（潜伏期にある方）から感染するかどうかは、現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性が最も高くなると言われています。
3. 新型コロナウイルスは、口や目、鼻などの粘膜に付着することにより感染しますので、手洗い、手指消毒等が有効な感染防止となります。
4. 一般のマスクの着用で新型コロナウイルスへの感染を防ぐことはできません。しかし、咳やくしゃみなどによる飛沫の拡散を防ぎますので、感染の拡がりを抑えるのに一定の効果があります。

※厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A」より抜粋

献血会場での安全対策

◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。

- ①入口での注意喚起（写真①）
- ②体温測定（写真②）
- ③手指消毒（写真③）
- ④お願いパンフレット（写真④）

◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。

（入口の他にも要所に消毒液を設置しています。）


◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある献血をお願いしています。

「新型コロナウイルス感染症」が発生しています

以下に該当する方は「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆ 海外から帰国して「4週間以内」の方
- ◆ 発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状等のある方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方と、4週間以内に濃厚な接触[※]があった方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方

※「濃厚接触」とは、必要に応じて検出されておらずに感染すること、または同居で生活することが可能な距離（目安として2メートル）で接触した状態を指します。
（厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A」参照）



写真①



写真②



写真③

お願い!

献血を受ける皆様へのご注意、「献血お断り」をお断りします。

次に該当する方は献血をご遠慮ください

- ✓ 3週間以内、海外から帰国（入国）した方
- ✓ 4週間以内、海外から帰国（入国）した方
- ✓ 1ヵ月以内、72時間の発熱があった方
- ✓ 2週間以内、呼吸器症状があった方
- ✓ 濃厚な接触[※]があった方

※「濃厚な接触」とは、必要に応じて検出されておらずに感染すること、または同居で生活することが可能な距離（目安として2メートル）で接触した状態を指します。

次に該当する方は職員にお申し出ください

- ✓ 発熱や咳、呼吸器症状等のある方
- ✓ 海外から帰国（入国）した方
- ✓ 濃厚な接触[※]があった方

※「濃厚な接触」とは、必要に応じて検出されておらずに感染すること、または同居で生活することが可能な距離（目安として2メートル）で接触した状態を指します。

2020年10月

写真④